



学校だより



令和6年6月28日
7月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

未来に資源を残すために…。

副校長 山崎 清香

30年後、世界の環境はどうなっていると思いますか？

今と同じ？

悪くなっている？

それとも私たちの意識次第でしょうか？

先週4年生は、調布市深大寺にある「クリーンプラザふじみ」を見学しました。ごみを処理する仕組みについて学んだだけではなく、資源には限りがあり石油はあと40年分、鉄はあと30年分しかないと言われていることも聞きました。さらに、そこで働く方々の苦勞や工夫も聞き、今の地球温暖化を防ぐために何ができるかについても教えていただきました。

最近私たちの生活の中でもよく聞く言葉、

リデュース（ごみを減らす）

リユース（繰り返し使う）

リサイクル（資源化して再利用する）

です。

でもそれよりも私が心に残った言葉は、「だれかがやるという気持ちではなく、一人一人が実践しないと変わらない。」ということです。

環境問題は、どのように取り組むかという行動の問題ですが、同時に、心の問題でもあります。例えば、先ほど述べた3Rの取組を行うには、まず、環境問題に対する意識を高くもつことが必要です。今まで、当たり前のようにやってきたことを変えるのは、決して簡単なことではありません。しかし、私たちの住んでいる地球環境を守るために、一人一人が意識を高くもって、毎日少しずつ自分ができるところから取り組んでいくことが大切です。誰かが行えば良いという他力本願では変わっていきません。

私たちに何ができるかを、未来に生きる子どもたちと共に考えましょう。そして、子どもたちが自らすすんで実践することができる心を育ていけるよう、私たち大人が模範を見せていきたいものです。

7月の生活目標 物を大切にしよう

物の豊かな社会に生きる子供たち。物を大切にする心を育て、自分の持ち物や人の持ち物、学校の物を大切にする習慣を培っていきます。

「自分の持ち物には名前を書くこと」や「掃除用具や遊び用具などみんなで使うものは、正しく使い、後始末をしっかりとすること」を重点的に指導していきます。